

Teens向き

ねんなつやす としよ
2025年夏休みすいせん図書



『ラチとらいおん』

ベロニカ・マレーク／ぶん・え
とくなが やすもと／やく

福音館書店 1965年 1冊 74/E/7

ラチは弱虫の男の子。ある日、目を覚ますと小さいけどとても強いライオンがいて、ラチのことを強くしてやると言ってきた。その日からラチはポケットにいるライオンのおかげで、だんだん勇気を持てるようになっていく。



『お探し物は図書室まで』

青山 美智子／著
ポプラ社 2020年 300p FF/7

図書室にいた司書に読みたい本を相談したところ、本のリストとおまけをもらった。リストの中に入っていた自分とは関係のない本をきっかけに、仕事や生き方に悩む主人公たちの意識が変わっていく。短編5話を収録。

『^{さとし}聖の青春』

大崎 善生／著

講談社 2000年 333p 796/L

病気と闘いながらも、将棋に向き合い努力を重ねた天才棋士^{きし} 村山^{むらやま} 聖^{さとし}の29年間の生涯を描く。

『家族だから愛したんじゃないくて、愛したのが家族だった』

岸田 奈美／著

小学館 2020年 221p 914/4

父は早くに他界、母は病気により車椅子、弟はダウン症で知的障害がある。どんな時でも明るく前向きな著者による家族にまつわるエッセイ集。

『バッタを倒しにアフリカへ』

前野ウルド浩太郎／著

光文社 2017年 378p 486/7

バッタを研究しすぎてバッタアレルギーになった昆虫学者の著者。世界の食糧問題とバッタに食べられたいという夢と生活のため、バッタの大群に挑む。

『生き抜くためのごはんの作り方』

有賀 薫／[ほか] 著

河出書房新社 2022年 190p TE/59/4

料理研究家のリュウジさんや小田^{おだ}真規子^{まきこ}さんなど、料理家から主婦までさまざまな“ごはんを作る人”によるエッセイとレシピ集。



おいそまちでんしとしよかん
大磯町電子図書館

<https://web.d-library.jp/oiso/g0101/top/>

でんしとしよかん
もあるよ！